

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	解析学		
英文授業科目名	Analysis		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	池田 和正		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
無限級数（関数項級数を含む）の扱いと微分方程式の解法を主題とする．一変数の微分積分のうちで微分積分学第一で取り扱わなかった部分を補完する面もある．

【前もって履修しておくべき科目】
微分積分学第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
三宅 敏恒 著『入門 微分積分』（培風館）[微分積分学の教科書] 橋本洋志(他)著『微分方程式 + モデルデザイン教本』（オーム社）

【授業内容とその進め方】
<p>数列と級数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数列収束とその極限 ・無限級数の収束と発散（正項級数，交代級数，絶対収束と条件収束） ・整級数の収束と発散，収束半径 ・*関数列，関数項級数の一様収束 ・*極限と微分積分との順序交換 <p>微分方程式</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

- ・微分方程式の例（一般解と特殊解，積分定数，解の存在と一意性）
 - ・1階の微分方程式の求積法（変数分離形，同次形，1階線形微分方程式，完全微分方程式など）
 - ・*線形微分方程式の基本的性質（解空間，基本解，ロンスキアンなど）
 - ・定数係数線形微分方程式の解法
- (*印は講義では必ずしも取り上げない)

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価基準

無限級数の収束発散の判定，整級数の収束半径の計算，関数の整級数展開が，比較的単純な例に対して実行できる．また，変数分離形の微分方程式，2階の線形微分方程式の一般解が計算法が理解されていることを合格の基準とする．

評価方法

毎回の授業で行なう小テスト(出欠の確認を兼ねる)，中間テスト，期末テストの点数，出席状況の4つを総合して評価する．平常点を十分加味するので，追試，再試は行なわない．

【オフィスアワー：授業相談】

【学生へのメッセージ】

授業をサボっておいて，後で，就職や進学に単位が必要だからと言われても，レポート等で救うことはしません．点数，合否，成績の照会には応じません．なお，テスト等は返却しないので必要に応じてメモしておくこと．大学入試の勉強より大学での数学の方がずっとやる人が多いです．しっかり予習復習をしないとたちどころに分らなくなります．他の人の迷惑になるので，教室内での携帯用情報機器の電源を切ってください．

【その他】

学内連絡教員：山田(裕)(T) yyyamada@sugaku.e-one.uec.ac.jp